

ゆずりは通信

(H28年1月)



教育長からのメッセージ

高井 芳朗 教育長

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに平成28年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

近年グローバル化が急速に進んでおり、本県においても、私たちは10万人の在留外国人と暮らしの場をともにしています。これからの多文化共生社会に対応するためには、様々な場面において互いの価値観やその背景にある文化の違いを踏まえて対話を重ね一致点を見出す力、すなわち「コミュニケーション能力」が求められます。

日本人は、従来、「以心伝心」をよしとしてきましたが、価値観が多様化する中、それだけでは通用しない場面が増えてきています。職場の上司や同僚、あるいは地域の人々との関係においても、世代や性別などの違いを超えたコミュニケーションを、意図的・意識的に行っていくことが必要です。互いを認め合い、尊重し合いながら自己実現を図り、協働して社会を築いていく力が、これからの社会を生き抜くために必要な力だと言えます。

そうした力を子どもたちに培うため、児童生徒自らが課題を発見し、その解決に向けて互いの考えを伝え合い、建設的な議論を重ねることを通じて主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブ・ラーニング）に関する研究や実践が、研究機関や学校で既に取り組みされています。

子どもたちの「学び」をより確かなものとするためには、教員自身が、子どもたちの成長や変化等を踏まえつつ、継続的に指導方法を見直し、アクティブ・ラーニング等の実践を進めていくことができる「学びの専門家」へと転換していかなければなりません。

教職員の皆様にあっては、「ひょうご教育創造プラン」の基本理念を踏まえ、探究心や学び続ける意欲を持って、これからの時代に生きる子どもたちをどう育成すべきかについての課題意識を共有し、その育成のために確固たる信念を持って取り組んでいただくことを期待しています。

(兵庫教育1月号より抜粋)

県教委TOPICS

●県立学校が県庁の緑化等に取り組んでいます

1月は淡路高等学校「花と緑と海のめぐみ系列」2年生の5名による作品です。自分達で育てたシクラメン、サイネリア、ストック、プリムラを明石海峡大橋の周りにあしらいました。花の配色などを相談しながら、賑やかに作業を進めていました。新春らしい華や



淡路高校の作品展示

かな作品に仕上がっています。淡路高校の活動を紹介したパネルも展示していますので、ぜひお立ち寄りください。展示場所は県庁2号館と3号館の間の通路(議会棟1階)です。

※学校 PR 等はワンショットニュースをご覧ください。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/oneshot16/index-oneshot1601.html#ryokuka>

●第11回みんなのアート展（兵庫県特別支援学校等作品展）を開催しました（H27. 12. 16～12. 20）

この作品展は、障害のある子どもたちの作品を展示し、発表することの喜びを感じてもらう絶好の機会として、また、作品発表を通じて県民に特別支援教育への理解を深める機会として例年好評を得ています。

県内の特別支援学校 39 校及び小・中学校の特別支援学級（今年は播磨東地区小・中学校が参加）約 3,400 人が出展し、今年もたくさんの力作が揃い、発想が豊かで、色使いやタッチから一人一人の心の動きやエネルギーが感じられました。

最終日の 20 日には、兵庫県知事賞や兵庫県市長会会長賞、兵庫県教育長賞、神戸市長賞等を受賞した幼児・児童・生徒が集まり表彰式も開かれました。

ワンショットニュースからもご覧いただけます。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/oneshot15/index-oneshot1512.html#art>



作品展示の様子(原田の森ギャラリー)

●ひょうご子ども読書活動推進フォーラム(全県フォーラム)を開催しました（H27. 12. 20）

この事業は、国が実施する「読書コミュニティ拠点形成支援事業」の一つとして、地域全体で子どもの読書活動を支える環境の整備を図る事業です。

今年は、テーマを「公立図書館と学校の連携強化」と設定し、読書活動に繋がる機会として、県内5地区でのフォーラムと全県フォーラムを開催し、延べ約 1000 名の参加がありました。

全県フォーラムでは、小泉八雲曾孫の小泉 凡氏（現 島根県立大学短期大学部教授）に「地域文化資源としての小泉八雲」、岩槻 邦男氏（現 県立人と自然の博物館名誉館長）に「いいもの本モノものがたり」と題して、本とモノ、体験を繋げる講演をいただきました。トークセッションでは、お二人のほか、県立図書館職員と県立高校教員で、具体的な「公立図書館と学校の連携強化」について議論を深めました。

最後に、「ビブリオバトル甲子園」として、中・高生の部、社会人の部を実施しました。中・高生の部は地区フォーラムでの予選から、28 校 51 名と過去最高の参加があり、読書活動へのきっかけの一つのツールとして広がりつつあります。



トークセッションの様子



「ビブリオバトル甲子園」決勝大会の様子

●定例教育委員会での主な審議事項等（12月）

★第16回（H27.12.3）

- ・平成28年度高等学校進学希望者数等動向調査の結果について
- ・第5回神戸マラソンの実施結果について

★第17回（H27.12.17）

- ・個人情報の保護に関する条例施行規則及び行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定の件
- ・平成28年度「指導の重点」(案)について
- ・平成27年教育10大ニュース
- ・平成27年度県立高等学校卒業予定者の就職内定状況について
- ・平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

※会議録及び会議資料は、教育委員会ホームページでご覧いただけます。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/iinkai/i-kaigi/iinkaikaigi27.htm>

●平成27年 教育10大ニュース

平成27年中に実施した県教育委員会の主要な施策、事業や出来事の中から「平成27年教育10大ニュース」を選定しました。

- ・新教育委員会制度スタート、総合教育会議を開催し教育に関する「大綱」を策定
- ・公立高校に新通学区域を導入、学びたい学校の選択肢を拡大
- ・発達段階に応じた系統的キャリア教育スタート
- ・小・中・高校生の学力向上に向けた取組を充実
- ・グローバル化に対応した取組を充実
- ・新但州丸竣工や拠点農業高校による農業技術・技能習得環境の整備など高校の魅力・特色づくり進む
- ・出石特別支援学校みかた校開校など特別支援教育の教育環境整備進む
- ・ひょうご歴史研究室の開設や南あわじ市での銅鐸の歴史的発見など、地域の歴史文化を活用した地域づくりに大きな弾み
- ・コウノトリ試験放鳥から10年、県外や国外で野生復帰に向けた動きが広がる
- ・全国高校総体「2015 君が創る 近畿総体」6競技を兵庫県で開催

※教育委員会ホームページでご覧いただけます。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~board-bo/kisya27/2712/151215somu.html>

今後のイベント情報

★平成27年度高等学校魅力・特色づくり活動発表会 1月30日(土)13時～於スペースシアター

★美術館・博物館等の催し案内

施設名	主な催しもの	期間
県立美術館	特別展 <u>ジョルジョ・モランディー-終わりなき変奏-</u>	H27.12.8(火)～H28.2.14(日)
	県美プレミアム 小企画展 <u>奇想の版画家 谷中安規展</u> テーマ展 <u>版画大行進!ハンガ・オンパレード</u>	H27.11.21(土)～H28.3.6(日)
県立歴史博物館	特別企画展 <u>出石焼-但馬のくらしとやきもの-</u>	H28.1.16(土)～H28.3.6(日)
県立考古博物館	<u>ふるさと発掘展 国史跡多田銀銅山-銀山 攻略第2巻 役所関連遺跡の調査</u>	H27.10.27(火)～H28.3.27(日)
	古代中国鏡展示施設開館プレ企画展 <u>千石コレクション 古代中国鏡の至宝Ⅱ</u>	H28.1.5(火)～H28.1.24(日)
	企画展 <u>ひょうごの遺跡2016-調査研究速報-</u>	H28.1.30(土)～H28.3.27(日)
県立図書館	特別展示 <u>「生誕130年 谷崎潤一郎」展</u>	H28.1.22(金)～H28.5.18(水)

●県立美術館にて特別展「ジョルジョ・モランディー -終わりなき変奏-」好評開催中です



特別展「ジョルジョ・モランディー-終わりなき変奏-」開会式
(県立美術館)



特別展「ジョルジョ・モランディー-終わりなき変奏-」(県立美術館)